



絶景！スイス鉄道

文・写真＝鉄道写真家 中井精也

【表紙写真】

起点の駅ではガッカリな曇天。でも蒸気機関車はぐんぐんと坂を上り、ついには雲の上へ！まるで天空を走るようなプリエンツ・ロートホルン鉄道の車窓風景に感激！
(2012.9.3/ロートホルン・クルム駅付近)



プリエンツ湖とアイガーの山々の大パノラマ(2015.7.7/プリエンツ・ロートホルン鉄道)

今回は、世界一の絶景を走るといわれるスイスの鉄道をご紹介します。スイスは広大なイメージがありますが実は意外に狭く、九州よりも少し狭いくらいの国土面積しかありません。でもそこに5000キロメートルを超える距離の鉄道が敷かれ、魅力的な列車がたくさん走っているのです。そして何よりの特徴は、山岳路線が多いこと。世界に名だたる名山にアクセスするスイスの鉄道は、まさに息をのむような絶景を、車窓から眺めることができるのです。ここでは僕のおすすめの絶景路線をよりすぐってご紹介します！

蒸気機関車で急勾配に挑む絶景路線

プリエンツ・ロートホルン鉄道は、プリエンツ湖のほとりにあるプリエンツ駅と標高2244メートルのロートホルン・クルム駅を結ぶ7・5キロメートルの登山鉄道。スイスの登山鉄道としては珍しく電化されておらず、なんと今でも蒸気機関

車の牽引で運転されています。レールの間に急坂を上るためのラックレールがある「アプト式」鉄道で、最大勾配は250パーセント。これは1000メートル進むごとに標高が250メートル高くなるというかなりの急勾配になります。参考までに日本で唯一アプト式を採用している大井川鐵道井川線の最大傾斜は90パーセントなので、かなりの急勾配であることがわかります。

もし日程に余裕があれば、まずはロートホルン・クルム駅まで乗車し、途中駅のプランアルプまで撮影しながらトレッキングするのがおすすめ。約10キロメートルの道ですが、見開きの写真のように眼下にはプリエンツ湖、奥にはアイガーの山々という最高の絶景とともに、可愛い蒸気機関車を撮影することができます。

ベルナーオーバーラント三山と絶品チーズトースト

続いてご紹介するのはミューレ

スイスの小湊鐵道!? に大興奮

ヴィルダースヴィル駅から分岐するシーニゲ・プラッテ鐵道は、宮崎アニメの「天空の城ラピュタ」に出てきそうな機関車が、本誌でもご紹介した小湊鐵道のような可愛い客車を牽引するという夢のよ

うな路線。最初にこの鐵道を見つけた時、あまりにうれしくて妻に「スイスで小湊鐵道のようなゆる鉄を見つけたんだよ!」って電話したら「ずいぶん遠くまで小湊鐵道を撮りに行ったわね」ってあきれた路線でもあります(笑)。オススメは途中駅のブライトラウエネン駅で途中下車しての、お散

歩撮影。駅から20分ほどのんびりと坂を上っていくと、トゥーン湖の絶景をバックに、スイスの小湊鐵道を撮影することができます。またブライトラウエネン駅では、ホーム脇に無造作に置かれたテーブルで、絶景と列車を見ながらカフェを楽しむことができます。ここは観光客がほとんどいないので、のんびりと絶景を独り占めできますよ。

歴史ある 360度 ループ橋

最後にご紹介するのは、スイス最大の私鉄であるレーティッシュ鐵道。世界的に有名な観光列車「氷河急行」や「ベルニナ急行」を運行する鐵道だけに、見どころは数え切れないほどありますが、今回ご紹介するのはレーティッシュ鐵道ベルニナ線のハイライトで

〈なかい せいや〉
1967年東京生まれ。鐵道の車両だけにこだわらず、鐵道に関わる全てのものを被写体として独自の視点で鐵道を撮影する。広告、雑誌写真の撮影のほか、講演やテレビ出演など幅広く活動している。著書・写真集に『1日鉄!』『デジタル一眼レフカメラと写真の教科書』など多数。株式会社フォート・ナカイ代表。公益社団法人日本写真家協会(JPS)会員、日本鉄道写真作家協会(JRPS)会員。

スイスの鐵道には、まだまだたくさん絶景がありますが、そちらはまたの機会に。



ベルニナ線のブルージオ360度ループ橋(2012.9.6/レーティッシュ鐵道)



小湊鐵道カラーの客車
(2018.9.28/
シーニゲ・プラッテ鐵道)



のんびりしたブライトラウエネン駅
(2014.7.6/シーニゲ・プラッテ鐵道)



アイガー・メンヒ・ユングフラウを望みながら(2018.9.28/ミューレン山岳鐵道)



ヴァンターエッグ駅名物チーズトースト
(2018.9.29/ミューレン山岳鐵道)



スイスの民族音楽を聞きながら
(2018.9.29/ミューレン山岳鐵道)

ン山岳鐵道。全長約4・3キロメートルのとても小さな鐵道ですが、ベルナーオーバーランツト三山と呼ばれる、アイガー・メンヒ・ユングフラウの絶景を堪能することができるんです。使われている電車もとてもレトロなスタイルで、どこか日本のローカル私鉄で走っているような愛らしい車両なのもうれしいところ。

さて、この路線の最大のおすすめポイントが、なんといってもベルナーオーバーランツト三山の絶景ではなく、中間のヴァンターエッグ駅のレストランで食べられるチーズトーストです(笑)。素朴なパンに、チーズがトロリ。スイスの民族音楽を聞きながら、トーストの上にのせた目玉焼きを崩して食べれば、もう気分はアルプスの少女ハイジ♡お目当てのベルナーオーバーランツト三山は、かなり天気が良いと見えませんが、仮に天気が悪くても、このチーズトーストを食べられれば悔いはないはずですよ(笑)。